

結核の現状・対策について

日向保健所 健康づくり課
疾病対策担当

結核とは

- 結核菌による感染症。
- 1950年頃まで、死亡原因の1位となっていた。
- 患者数は減少しているが、現在でも毎年約10,000人が新たに結核を発病し、1,500人以上が亡くなっている。

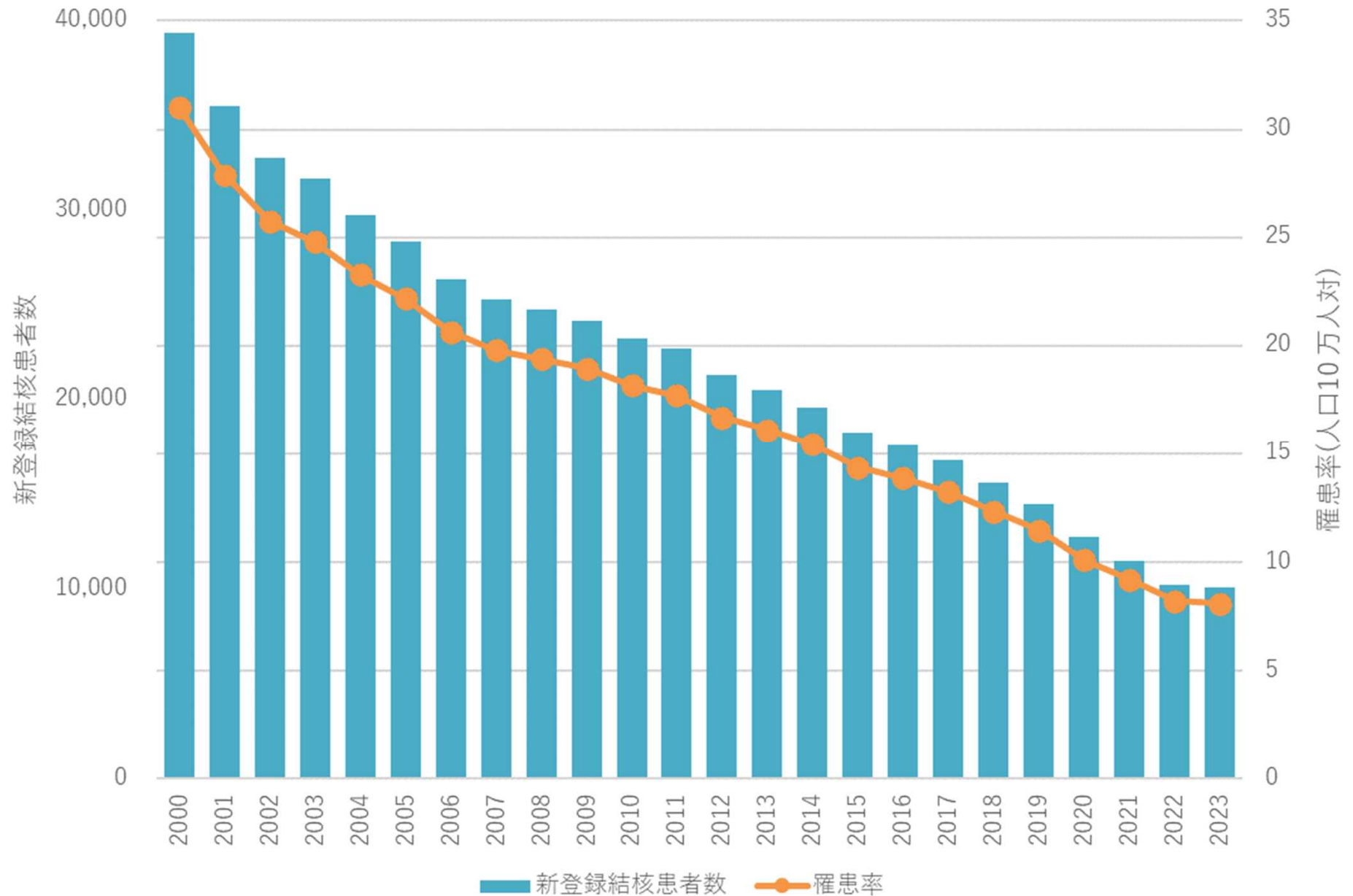
感染

- ・結核菌が肺の中に入り込んだ状態。
- ・症状はない。
- ・人に感染させない。

発病

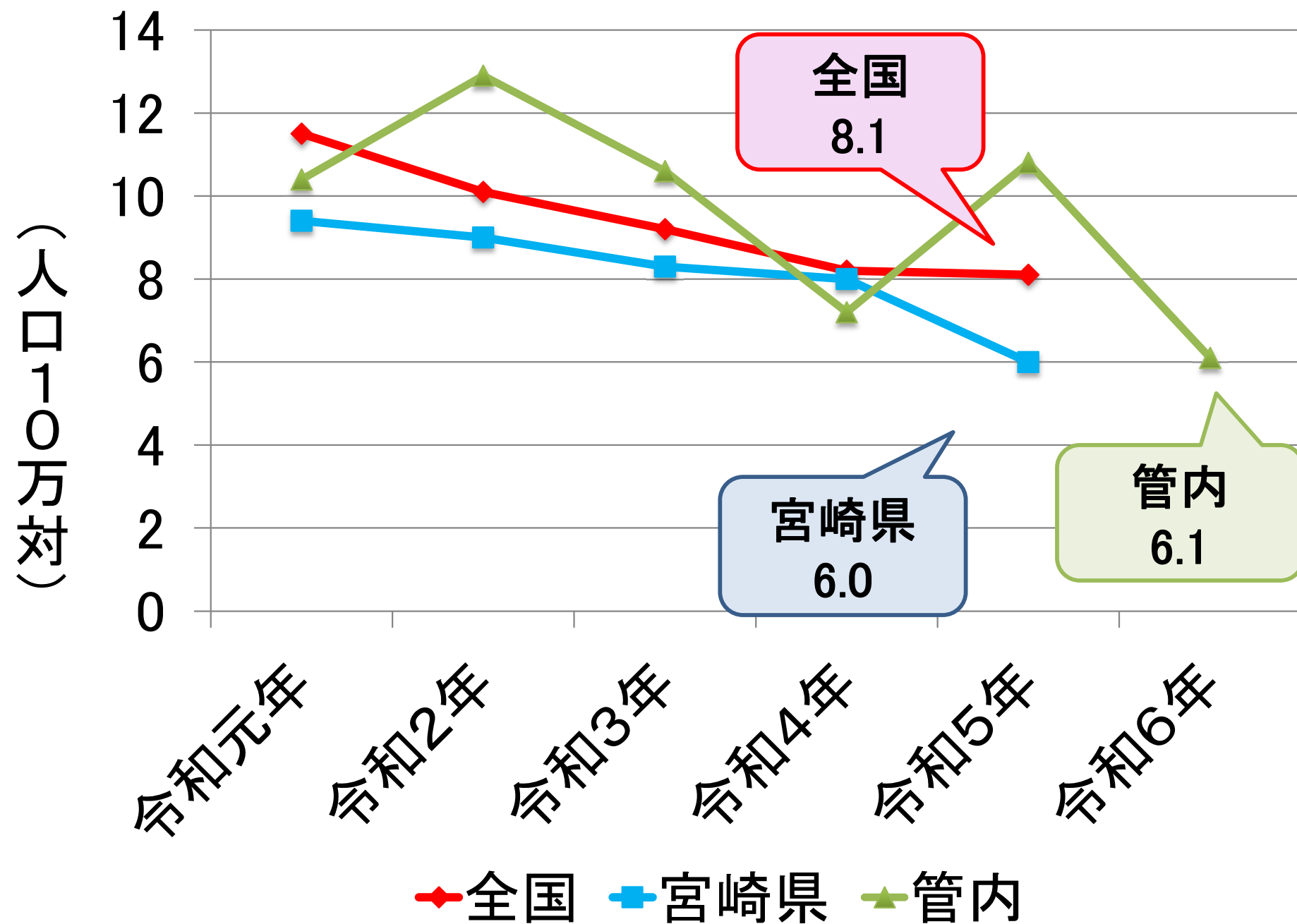
- ・胸部X線検査で異常がみられる。
- ・咳、痰、発熱などの症状が現れる可能性がある。
- ・排菌している場合、人に感染させる可能性がある。

新登録結核患者数と罹患率の推移(2000年～2023年)



引用 公益財団法人結核予防会 結核の統計2024

罹患率の推移



日向保健所管内における新登録結核患者数の推移

	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
総数（名）	1 1	8	6	9	5
65歳以上（再掲）	9	7	5	6	4
割合（%）	8 1 . 8	8 7 . 5	8 3 . 3	6 6 . 6	8 0 . 0
75歳以上（再掲）	8	6	5	5	3
割合（%）	7 2 . 7	7 5 . 0	8 3 . 3	5 5 . 5	6 0 . 0



結核の症状



せき・たん



熱が出る



体がだるい



食欲がない



体重が減った



息苦しさ

高齢者の結核の特徴

高齢者は免疫力や身体機能の低下より…

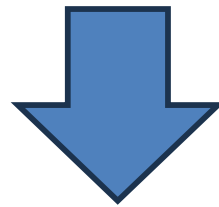
- 発病しても咳や痰などの**呼吸器症状がないこともある。**
- 元気がない、発熱、体重減少、食欲不振などの症状に
要注意。

高齢者は**結核のハイリスク者**であるため、
定期的な健康チェックが重要

発見が遅れると…

重症化や集団感染につながるなど、
様々なリスクが考えられる。

高齢者は重症化リスクが高い
集団感染につながる可能性がある



早期発見によって、速やかに適切な治療へ
つなげることが重要

結核早期発見チェックリストの活用

高齢者施設のための 結核早期発見チェックリスト



結核は過去の病気だと思いませんか？
宮崎県では毎年約80～90名の方が新たに結核に罹患し、
その約8割が、65歳以上です。
高齢者施設においても、結核対策が重要です！

宮崎県



このリーフレットは、公益財団法人結核予防会結核研究所対策支援部保健看護学科編高齢者施設・介護職員対象の結核ハンドブック
(2016年7月)を参考に宮崎県が作成しました。(平成31年3月作成/令和6年2月改訂)

- 1 結核早期発見のための
施設の体制チェックリスト
- 2 発病リスクチェックリスト
- 3 健康チェックリスト

↓ 宮崎県HPにも掲載。

<https://www.pref.miyazaki.lg.jp/yakumukansensho/kurashi/hoken/20240222143203.html>

介護施設等介護従事者研修会

令和6年11月5日(火)開催

○内容:

説明「県北地域における結核患者の発生動向及び
結核定期健康診断について」 日向保健所職員

講演「結核の基礎知識・治療および高齢者施設における
感染対策について」

宮崎東病院 濱地 浩子 氏

※ 県北3保健所で、毎年度持ち回り開催



医師等医療従事者向け研修会

令和5年11月17日(金)開催

○内容:

説明「県北地域における結核患者の発生動向及び
服薬支援について」 日向保健所職員

講演「結核・非結核抗酸菌症の基礎知識
～診療現場を意識して～」
宮崎東病院 伊井 敏彦 氏

※県北3保健所で、毎年度持ち回り開催



感染症法53条の2

定期健康診断

実施義務者	対象者	実施時期
介護老人 保健施設長	業務に従事する者	毎年度
社会福祉 施設長	業務に従事する者	毎年度
	65歳以上の入所者	65歳に達する日の 属する年度以降、 毎年度

健康教育（高齢者向け）

令和6年12月 3回開催

○内容：

結核の基礎知識

定期健康診断の重要性

結核に関する○×クイズ
など



服薬支援

～お薬管理がんばるノートの活用～



服薬支援の方法

関係機関と連携をとりながら、薬を飲み終えるまで
見守り支援を行います。

病室(入院中)



事業所・施設



保健所(面談、自宅訪問)



DOTS

DOTS(directly observed treatment short-course)

医療従事者などの目の前で、患者が薬を確実に飲むことを確認し、完全に治癒するまで見守る治療法



お薬管理がんばるノート

お薬管理 がんばるノート

～治癒を目指して！
みんなで支える連携パスポート～



氏 名 _____

対象者

結核と診断されたすべての患者

活用方法

- ・ 患者・家族が記入する服薬チェック表と関係機関が診療、支援内容を記入する連絡票が含まれ、患者が所持する。

活用目的

- ・ 医療方針の継続化
- ・ 患者・関係機関の情報の共有
- ・ 患者の服薬管理に対する意識向上